岩盤ボーリング柱状図

調査名　廿日市市新機能都市開発構想計画に伴う一般県道廿日市環状線道路改良事業　設計業務

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　橋梁・高架

ボーリング名	A2-1	調査位置	広島県廿日市市平良地区内	北緯	34° 21’ 45.4331″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和2年 1月17日～ 令和2年 1月20日	東経	132° 19’ 48.3210″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	45.90m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	12.00m	地盤勾配	40° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD-13 / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1	45.10	0.80	SP	砂質土	茶褐							(100)	表土を含む砂質土。	
2					明茶褐							(100)	砂は細～中砂を主体とする。	
3	42.60	3.30										(100)	少量の植物片を含む。	
4				花崗岩	淡茶褐	w4	h1	E	VI	d	DL	0[0](100)	風化した粗粒花崗岩。	
5												0[0](100)	コアは主に砂状を呈す。花崗岩組織は、肉眼で明瞭に確認できる。	1/20 4.50
6												0[0](100)	全体的に深度方向に向かって硬質となる。	
7	38.90	7.00										0[0](100)		1/21 6.70
8	37.90	8.00									DM	0[0](100)	GL-8.00～9.00m間、GL-11.00～11.50m間は高角度の細脈が発達しやや変質している。	
9	36.50	9.40			淡乳灰		h2					0[0](100)		
10	35.90	10.00			淡乳灰		h1				DH	0[0](100)		
11	34.90	11.00						D	V	c	CL	10[10](100)		
	34.40	11.50					h2							
12	33.90	12.00			淡茶褐		h1		VI	d	DH			
13														
14														
15														
16														
17														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15 / 1.45	3 / 300		
3	2.15 / 2.51	3 / 360		
15	3.15 / 3.45	15 / 300		
18	4.15 / 4.45	18 / 300		
16	5.15 / 5.45	16 / 300		
27	6.15 / 6.45	27 / 300		
50以上	7.15 / 7.44	50 / 290	290	
50以上	8.15 / 8.33	50 / 180	180	
50以上	9.00 / 9.16	50 / 160	160	
50以上	10.00 / 10.06	50 / 60	60	
50以上	11.00 / 11.03	50 / 30	30	
50以上	12.00 / 12.02	50 / 20	20	

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
			2000		打込み/	0	0	0	W1/10	10
			1200							
			1000							
			667	86	SW/MC	0～10	60	0	W3/0	0
			316							
			750							
		1/17	667							
エラスト			400							
			316							
			333							
エラスト			316	66	SW/MC					
エラスト		1/20	194							